

# 巻頭言



取締役社長

**浜崎 祐司** Yuji Hamasaki

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様方には佳き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より「明電時報」をご愛読いただき厚く御礼申し上げます。

我が国の経済は、高水準の企業収益と堅調な設備投資によって、緩やかな景気回復基調を持続しています。一方で、世界経済は、中国経済の減速や米国の利上げ観測・中東情勢の緊迫化などによって、依然として先行きが不透明な状況が続いています。

このような中、当社グループは、今年度からスタートした中期経営計画「V120」の施策を着実に進め、「国内事業の収益基盤の強化」と「海外事業の成長拡大」を両立することで、更なる企業価値の拡大を目指しています。

国内事業では、発電・変電・電動力応用などコア製品の競争力の強化に努めています。また、ICT・IoTの活用によるシステム技術の強化、さらにお客様の施設全体を機器製造から保守・点検、維持管理や運転管理まで一括して請け負うワンストップサービスを強化しており、お客様への提案力と提供価値の拡大を進めています。

海外事業では、変電・配電設備、発電設備、下水処理設備、鉄道設備などの需要が高まる中、設備の納入や製品の販売を強化しています。

例えば、東南アジアを中心とした新興国の水力発電所に多数の水力発電設備を納入しており、ラオス人民民主共和国に納入した小水力発電設備は順調に稼働し、ラオスの経済・社会の発展に欠かすことができない電力の安定供給に貢献しています。

また、シンガポールでは様々な処理場で水処理についての実証研究を進めた実績と成果が認められ、チャンギ水再生センター MBR プラント向けセラミック平膜を受注しました。さらにセラミック平膜を使用した水処理事業を拡大し、東南アジアや中東地域などでの水処理設備及びセラミック平膜の販売を強化することで、各国の水資源の確保と水の安定供給に貢献していきます。

以上、平成27年における当社の取り組みと成果の一端をご紹介申し上げます。今後も当社はおお客様の視点に立った製品の提供を目指して、更なる技術の研さんに努める所存です。皆様方の引き続きのご支援、ご鞭撻をお願い申し上げます。